



「まん延防止等重点措置」の適用



1月27日(木)から2月20日(日)まで、まん延防止重点措置が適用されました。新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にあります。第6波では「オミクロン株」での感染拡大が止まりません。今までも行っておりますが基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。三密(密接 密集 密閉)の回避 マスク着用(不織布マスクを奨励) 手洗い うがい 手指消毒 換気等 従来通りの予防対策を行いましょ。

感染症対策へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

- ①流水でよく手を洗った後、石けんをつけて、手のひらをよくこすり洗います。
- ②手の平のほうをよくこすり洗います。
- ③指先1本の指をこすり洗います。
- ④手のひらと手のひらをこすり洗います。
- ⑤手首も忘れずに洗います。
- ⑥石鹸を洗い落とす。
- ⑦指と手のひらをこすり洗います。
- ⑧手首も忘れずに洗います。

⑧咳エチケット **3つの咳エチケット**

咳やくしゃみをするときは、マスクを着用する(口を覆う)。

ティッシュハンカチで口を覆う。

肘で口を覆う。

正しいマスクの着用

- ①鼻と口の両方を確実に覆う。
- ②顔の周りをしっかりと密着させる。
- ③呼吸がしやすいよう、鼻まで覆う。

厚生労働省 | 厚労省 コロナ | 検査 | 0120-565653

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い密閉空間
②多数が集まる密集場所
③間近で会話や発声をする密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

厚生労働省 | 厚労省 コロナ | 検査 | 0120-565653

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と十分な距離を取る!

窓やドアを開けこまめに換気を!

国外でも密集するような運動は避けましょう!
少人数の散歩やジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう!
・多人数での会食は避ける
・顔と顔が近づかない
・互いに離る

会話をするときにはマスクをつけましょう!

5分間の会話は1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは会話を慎みましょう!

厚生労働省 | 厚労省 コロナ | 検査 | 0120-565653

特定非営利活動法人 AMDA の視察受け入れ

養父市がこの法人と「災害時における連携協力に関する協定」を結ぶにあたり、現地の被災地視察先として平成16年台風23号により被災した宿南地区が選定され12月27日(月)役員4名が来訪されました。

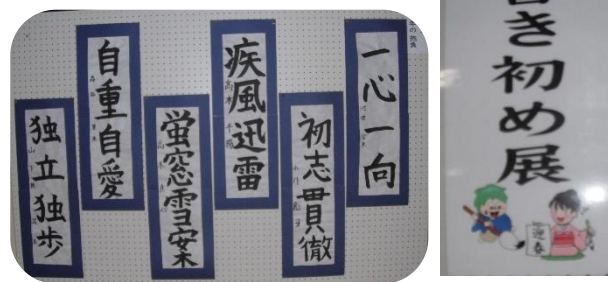
当時の被災状況を写真等で確認、青山川樋門をはじめとした対策工事の状況や住民の復旧活動の様子等について説明と意見交換をしました。

※AMDAは岡山県に本部を置く国際的な医療ボランティア組織



書き初め展開催

宿南小学校全校生の書き初めを、ふれあい倶楽部で展示しております。力作を見においで下さい。



6年生 今年の抱負

身近で見られる植物 ⑨

スギ〈ヒノキ科〉

これからの季節、花粉症の方には辛い季節になりますが、その元凶と言われるスギを紹介します。スギは日本原産の常緑針葉樹で、まっすぐに育ち、柱や板材に加工しやすいことから日本全国に広く植林されました。今の時期、花粉を出す雄花がたくさん着いているのを見ることができます。雌花は緑色をしているので目立ちませんが、球果となって膨らんでいきます。

雄花



雌花

球果



節分とは

今年の節分は2月3日でした。



節分は「立春」の前日に当たり、立春は暦のうえでは春の始まりの季節のこと。節分は冬の終わりの日。翌日から新しい季節が始まる区切りの日。

豆まきは、邪気や悪いものを落として新しい年に幸運を呼び込むことが目的で行っている。「鬼は外！福は内！」の掛け声を掛けて行い（窓の開閉も忘れず）、最後に「年取り豆」自分の歳の数プラス1個を食べる。翌年1年間を無病息災で過ごせるようにとの願いを込めて。

お知らせ

2月26日 ポウリング大会 および 3月13日 村民号（出雲方面）はコロナ感染症の終息が見られないため中止とさせていただきます。ご了承ください。

行事予定

3月 3日（木）もみの木里帰り式典（青谿書院）



草庵先生紹介

日記 36



青谿書院の桜の花を塾生や村の人達も楽しんだ

宮崎和夫さん作

池田草庵は松やもみ、かしの木を好んでいた。これらの木が天に向かって伸び、冬の寒さの中でも凛として立っている姿にひかれていた。青谿書院を開いて間もなく、門人たちとこれらの木を庭に植え、それが大きく成長する姿は書院のシンボルであった。

しかし、日記にはそれらの木だけでなく桜も庭に植えていたことが書かれている。庭に桜の花が咲くのを楽しみにしていたのだ。桜には様々な種類があるが、草庵は「桜」とだけ書いている。「今日、池口家の主人が庭に桜の木を一株植えてくれる」（弘化4〈1847〉年10月12日）

「今日、庭際に桜2株植える」（同15日）数年してこれらの木が成長して花を咲かせるようになってきた。「午後、兄嫁やおいの妻たちを招いて桜の花を夕方まで観賞する」（安政2〈55〉年2月30日）「講義の後、塾生と庭で桜の花を見ながら小酌。横になって休む」（慶応4〈68〉年3月14日）

書院の庭にも桜が咲いて春が来るのだ。山影にある青谿書院の庭は、いつまでも雪があり春が遅い。桜は里よりだいぶ遅れて咲き始める。庭の桜が咲くのを、草庵はいつも待ちかねていた。花が咲くと、草庵は一人では楽しまない。周りの人や知人を招いて一緒に楽しんだ。植えてから20年余りが過ぎて桜も大きな木になっていた。春になるとたくさんの花が咲き、やはり周りの人たちと楽しんだことが日記には書かれている。「塾生たちと庭で桜の花をめでながら、小酌。横になって休む」（明治3〈70〉年3月1日）「今日は桜の花満開で、婦人たちが何人かやってくる。村人も訪れる。みんな楽しく花をめでる。昼間から小酌して横になる」（同3日）

3月3日（旧暦）で雛の節句だったのでだろうか。ちょうど桜の花は満開になり、村人も村の婦人たちも花を楽しみにやってきて、青谿書院の庭はにぎやかになってきた。こんな時には草庵もお酒の一杯も飲んで、珍しく華やいだ気分の日だったことだろう。

池田草庵先生に学ぶ会